



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場会社名 日本コンセプト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9386 URL <http://www.n-concept.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 孝義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 仁科 善生 (TEL) 03-3507-8812
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	6,781	23.6	1,265	61.3	1,487	127.1	886	123.4
24年12月期第3四半期	5,484	—	784	—	655	—	396	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 950百万円(141.2%) 24年12月期第3四半期 393百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	203.08	—
24年12月期第3四半期	101.36	—

(注) 当社は平成24年12月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	13,423	3,980	29.7
24年12月期	12,696	3,161	24.9

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 3,980百万円 24年12月期 3,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,930	21.8	1,610	59.0	1,720	53.7	1,030	55.7	235.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年12月期3Q	4,366,000株	24年12月期	4,366,000株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	一株	24年12月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年12月期3Q	4,366,000株	24年12月期3Q	3,916,000株

(注) 平成24年6月19日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行いました^が、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。
なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、4月に日銀が異次元金融緩和を導入したこと等を受けて、為替が引き続き円安基調で推移し、これを背景として、価格競争力を取り戻した輸出企業を中心として企業部門の業績が回復する一方で、デフレ脱却に向けた内需を喚起する各種政策の効果が徐々に波及した結果、個人消費にも回復の兆しが見受けられるなど、景気持ち直しの傾向が続いております。

世界に目を向けますと、欧州では債務危機による緊縮財政など厳しい状況が続いているものの、ドイツでの景気持ち直しを牽引役に、ユーロ圏全体では徐々に底入れの兆しが見られております。一方で米国では、シェール革命を背景とする製造業の復活の動きが強まる中で、住宅市場が回復し、個人消費も拡大する等、緩やかな景気回復傾向が続いており、債務上限問題に伴う景気の一時的な下押し懸念はあるものの、家計部門を中心に底堅い成長が続くと見込まれております。また、中国をはじめとする新興国においては、経済成長率の鈍化に伴い景気低迷が続く中、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、円安による価格競争力の向上を背景として輸出取扱高が引き続き堅調に推移しました。一方で輸入は、円安進展に伴う仕入コストアップの回避を目的とする駆け込み需要が一巡し、一時的な過熱感が和らいで落ち着きを取り戻しましたが、取扱高は依然として高水準で推移しました。この結果、欧州とアジアの景気停滞を受けて三国間取引は引き続き低迷しましたが、全体としては、取扱高が順調に推移しました。

加えて、為替相場が1ドル90円台後半で推移したことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,781百万円(前年同期比23.6%増)となりました。また、利益面では、営業利益は1,265百万円(前年同期比61.3%増)、経常利益は1,487百万円(前年同期比127.1%増)となり、法人税等差引後の四半期純利益は886百万円(前年同期比123.4%増)を計上しております。

なお、当第3四半期末時点のドル円の為替相場が97円75銭と昨年度末の決算時点より11円17銭円安となり、ドル建て資産に評価益が発生する一方、通貨オプション取引の評価損が減少したことにより、為替差益として99百万円(前年同期は173百万円の為替差損)、デリバティブ評価益として273百万円(前年同期比13.8%増)の営業外収益を計上しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ726百万円増加(5.7%増)し、13,423百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ505百万円増加(19.4%増)し、3,103百万円となりました。現金及び預金が203百万円、売掛金が109百万円、その他の流動資産が191百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ228百万円増加(2.3%増)し、10,308百万円となりました。中部支店設立等に伴い、建物及び構築物(純額)が160百万円、その他の有形固定資産が68百万円増加したことが主な要因です。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ368百万円増加(13.2%増)し、3,157百万円となりました。その他の流動負債が80百万円減少したものの、買掛金が63百万円、短期借入金が127百万円、1年内返済予定の長期借入金が199百万円、未払法人税等が38百万円増加したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ460百万円減少(6.8%減)し、6,285百万円となりました。社債が302百万円、リース債務が44百万円、その他の固定負債が120百万円減少したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ819百万円増加(25.9%増)し、3,980百万円となりました。利益剰余金755百万円の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における売上高、利益額は、順調に進捗しており、平成25年12月期の連結業績予想につきましては、平成25年8月13日に公表しました連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,693,611	1,897,520
売掛金	787,194	896,579
その他	118,388	310,265
貸倒引当金	△573	△659
流動資産合計	2,598,620	3,103,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	542,930	703,378
タンクコンテナ(純額)	7,488,661	7,490,215
土地	1,568,801	1,568,801
その他(純額)	264,773	332,982
有形固定資産合計	9,865,167	10,095,377
無形固定資産	88,887	92,766
投資その他の資産	125,614	120,043
固定資産合計	10,079,669	10,308,187
繰延資産	18,530	11,773
資産合計	12,696,820	13,423,668
負債の部		
流動負債		
買掛金	505,772	569,529
短期借入金	63,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	1,178,625	1,378,435
1年内償還予定の社債	344,400	324,400
リース債務	100,670	108,517
未払法人税等	284,027	322,934
賞与引当金	18,266	49,648
その他	294,291	214,040
流動負債合計	2,789,053	3,157,505
固定負債		
社債	554,600	252,400
長期借入金	5,066,250	5,050,462
リース債務	659,013	614,814
退職給付引当金	56,404	64,018
訴訟損失引当金	—	14,594
その他	409,708	288,892
固定負債合計	6,745,977	6,285,182
負債合計	9,535,030	9,442,687

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,440	600,440
資本剰余金	526,599	526,599
利益剰余金	2,088,180	2,843,830
株主資本合計	3,215,220	3,970,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,290	△1,032
繰延ヘッジ損益	△24	—
為替換算調整勘定	△52,115	11,143
その他の包括利益累計額合計	△53,430	10,111
純資産合計	3,161,789	3,980,980
負債純資産合計	12,696,820	13,423,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,484,970	6,781,641
売上原価	3,957,557	4,681,818
売上総利益	1,527,413	2,099,823
販売費及び一般管理費	742,852	834,602
営業利益	784,561	1,265,220
営業外収益		
受取利息	1,283	1,747
為替差益	—	99,555
デリバティブ評価益	240,613	273,840
受取家賃	1,960	3,075
受取保険金	1,222	43,144
受取補償金	1,163	3,972
その他	1,671	1,653
営業外収益合計	247,915	426,989
営業外費用		
支払利息	177,925	170,920
為替差損	173,522	—
その他	25,886	33,301
営業外費用合計	377,333	204,221
経常利益	655,143	1,487,987
特別利益		
固定資産売却益	5,044	15
特別利益合計	5,044	15
特別損失		
固定資産売却損	—	522
固定資産除却損	504	23,706
減損損失	—	10,867
訴訟損失引当金繰入額	—	14,594
会員権売却損	—	5,278
特別損失合計	504	54,967
税金等調整前四半期純利益	659,683	1,433,036
法人税等	262,773	546,407
少数株主損益調整前四半期純利益	396,909	886,629
四半期純利益	396,909	886,629

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	396,909	886,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	257
繰延ヘッジ損益	△2,829	24
為替換算調整勘定	△228	63,259
その他の包括利益合計	△2,998	63,541
四半期包括利益	393,911	950,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	393,911	950,170
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。